

八代市厚生会館の今後の方向性について

～文化・芸術拠点の機能は文化コンベンションセンター(仮称)へ継承～

令和元年6月から休館としておりました八代市厚生会館につきましては、当会館の文化・芸術拠点の機能移転に関して、今後の方向性を下記のとおり整理したことから、今般、閉館とすることと決定しました。

1. 経 緯

令和元年6月：お祭りでんでん館の建設に伴い休館

令和3年2月：劣化度調査の結果、約20億円の改修費用が見込まれることや文化ホール等あり方検討会での意見、市民アンケート結果などを踏まえ、「ホールとして再開しない」方針を決定

令和3年3月：市議会経済企業委員会にて、上記の方針を報告

令和4年5月：ホワイエ部分の利活用に係る民間提案を募集（※応募なし）

2. 理 由

- ・休館以降、老朽化に伴う費用の問題や興行面での採算性、駐車場不足などの課題を解決すべく、あり方検討会を含め議論を行ってきた
- ・ホールとして再開しない方針を決定して以降も、機能をいかにして維持するか、検討を積み重ねてきたところ
- ・今般、閉館の決定とともに、以下のとおり今後の方向性を整理したこと

3. 今後の方向性

〈文化的価値〉

文化コンベンションセンター(仮称)内における音響空間を備えたホールとコンサートや大規模スポーツイベントなども開催可能なアリーナの整備、及び厚生会館記念スペース設置による継承

〈賑わいの創出〉

官民連携した跡地における文化・芸術イベントの開催や桜十字ホールやつしろの利活用促進

〈建築的価値〉

VRやデジタルアーカイブ等による記録・保存、模型製作、メモリアル事業実施

4. 閉館時期

令和5年6月定例会に、廃止条例を提案予定

問合せ 文化振興課 担当:松下・米崎
TEL 0965-33-4533

八代市厚生会館の閉館について

厚生会館の概要

- 〈開館〉
昭和37年7月18日
- 〈建築面積〉
2,918.91㎡(建築当時)
- 〈構造等〉
鉄骨鉄筋コンクリート造
地下1階、地上3階、塔屋1階
- 〈客席〉
定員1,200名(うち固定席 964席)



厚生会館の課題

- 〈老朽化に関するもの〉
 - ・維持管理費の増加
 - ・舞台設備等の使いづらさ
- 〈興行面に関するもの〉
 - ・座席数の少なさ
(※改修により 964席 ⇒ 約700席)
- 〈立地に関するもの〉
 - ・駐車場不足



約20億円かけて改修しても解決せず、
将来に課題を先送りする形になるため
「閉館」とする

八代市厚生会館の機能移転の方向性について

文化的価値

- 興行ニーズに沿った客席数
- 一体感のあるワンフロアの客席
- 音響効果にこだわった設計



文化コンベンションセンター(仮称)

- ✓様々な演出が可能なステージ機能を有するホール(音響を考慮した設計)
- ✓興行・公演に対応するアリーナ(2000席以上で大規模なコンサート等が可能)
- ✓厚生会館記念スペースの設置(模型展示、芦原氏紹介スペースなど)

賑わいの創出

- 市民に身近なホール
- 発表・体験・交流の場の提供
- 中心市街地の賑わい創出



厚生会館の跡地利用

- ✓賑わいと憩いの場の空間整備(お祭りでんでん館との連携)
- ✓官民連携した文化・芸術イベントの開催等
- ✓桜十字ホールの活用促進(中心市街地における市民芸術文化活動拠点)

建築的価値

- 著名な建築家(故・芦原義信氏)による設計
- DOCOMOMO Japanによる「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」選定



記録保存による継承

- ✓VR、デジタルアーカイブなどによる記録・保存
- ✓保存模型等の製作
- ✓ホワイエコンサートや思い出展などのメモリアル事業の実施